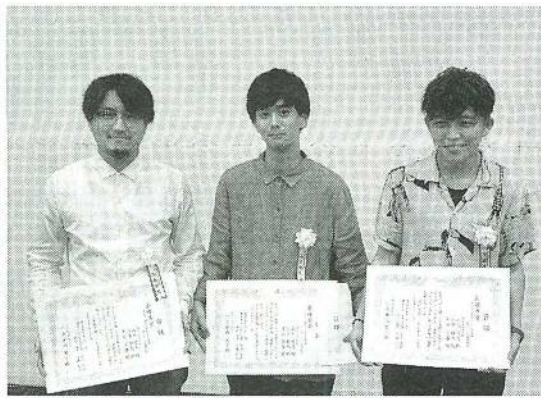


6棟の木造住宅 学生が設計競う

ポラスグループ

ポラスグループは6月

21日、「第5回ポラス学生・建築デザインコンペティション」の公開審査会を開いた。応募総数485件のうち、2回の審査を通過した5組のプレ



最優秀賞を受賞した浜本雄也さん＝写真④＝は「自分たちの中でも言語化できていないところがあったので、今後の課題としたい」とコメントした

ゼンテーションと審査員5人との質疑応答と投票で審査し、入選・佳作など計11件の表彰を実施した。

今回は「道からはじめた提案した。宅の設計案を学生たちが

他の審査員も「自分自身も闘志が湧いた。勝てな

最優秀賞には、従来の木造住宅のアウトラインの解体・再構築を試みた山元隆志さん（明治大学大学院）と浜本雄也さん（同）早坂寛啓さん（同）の「道的エネルギーの現像——揺らぎする境界風景——」を、優秀賞に選出した。

青木淳審査員長（青木淳建築計画事務所）は、「アイデアだけではなく、模型を作って建てる感じを見せる、労力があるコンペにもかわらず、多くの応募がある」と改め、応募作品を対象に商品化するアイデアも選出。これまで7件を選出しており、そのうち3件を既に商品化している。

かつた人もあきらめずトライを続けてほしい」（今井公太郎東京大学生産技術研究所教授）「今の若い人がコミュニケーションに對しどうアプローチするのか、見せてもらった。私たちでは発想できないこともあり、勉強になった」（ポラスグループ・安藤欣司氏）と評価した。

同コンペは同社創業45周年記念事業として14年に開始。優れたデザインを表彰するとともに、全応募作品を対象に商品化するアイデアも選出。これまで7件を選出しており、そのうち3件を既に商品化している。